

地域に信頼される看護をめざして

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには健やかに新年をお迎えのことと存じます。昨年は今までに経験したことのない自然災害に見舞われました。まだまだ復旧できない環境の中で不自由な生活を余儀なくされておられる被災者の方に心よりお見舞い申し上げます。

さて当院は急性期医療、疾病予防と治療、リハビリテーション、施設・在宅ケア、さらに福祉サービスを含む地域包括ケアを提供しています。看護部は病院の「地域包括ケアの実践と住民のための病院づくり」の理念に基づき、「全人的看護の実践」を看護理念としています。①看護の専門性を高め、患者中心の質の高い看護を実践します。②人間としての生命の尊厳と権利を尊重し、信頼される心のこもった看護を提供します。③常に地域住民との連携を密にし、ニーズに応じた継続看護を提供します。の3点を基本方針とし常に心豊かな感性を持ち、良質の看護を提供することで、地域の皆様から親しまれ信頼されるよう日々努力しています。

高度化し専門分化が進む医療の現場において、水準の高い看護を実践できると認められた看護師として認定看護師があります。「認定看護分野」ごとに日本看護協会が認定しています。当院には21認定看護分野のうち「摂食・嚥下障害看護」「感染管理」「脳卒中リハビリテーション看護」「皮膚・排泄ケア」「緩和ケア」の認定看護師が働いております。患者さま・ご家族によりよい看護が提供できるよう専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践・指導・相談」を果たして、看護の質の向上に努めております。地域包括ケアシステムを推進していく中で認定看護師たちの活躍に期待しています。認定看護師は胸にバッジを付けておりますので何かありましたら遠慮なくお声をかけてください。

私たち看護部は患者さまの最も身近な存在として多職種との連携を図りチームワークの起点となることで患者さまやご家族の支えになり一人ひとりの看護職員が誇りをもち、いきいきと地域に根付く看護を提供していきたいと思っております。今後もやさしさと思いやりの心で地域の方々のための病院づくりを目指して患者さま中心の医療・看護を実践してまいります。本年が皆さまにとってよりよい年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。



副院長 兼 看護部長
末 広 清 美

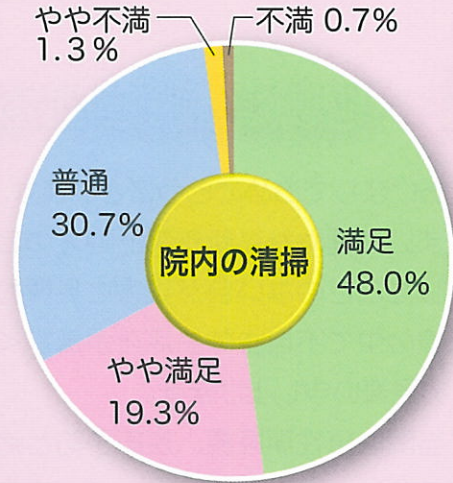
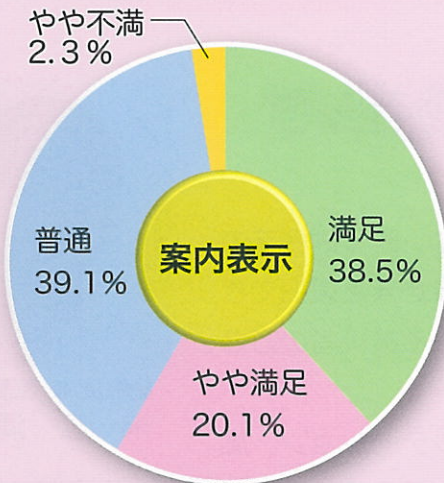
患者さまアンケート結果

平成30年9月に行いました患者さまアンケート調査の集計結果をお知らせします。
 外来336名、入院118名の方に回答していただきました。
 アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

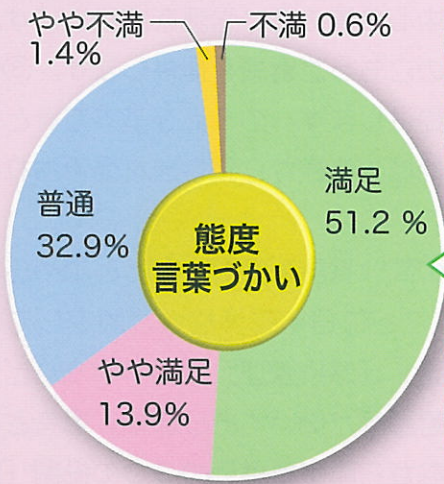


外来

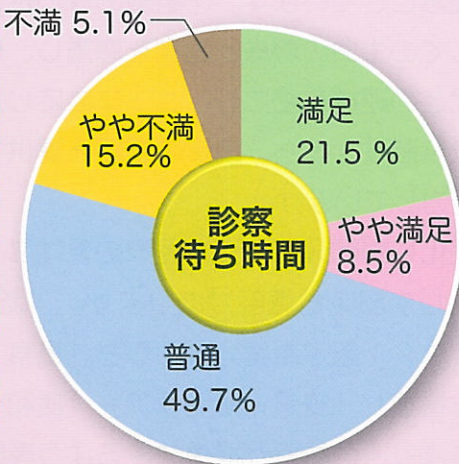
■環境整備について



■職員の接遇について



■診察待ち時間について



これ親院い
 れ切内つ
 からでも
 かも明お
 らるく世
 も来る職
 このる員
 のがの
 雰困苦
 気にな
 をなり
 保つて
 くださ
 います。

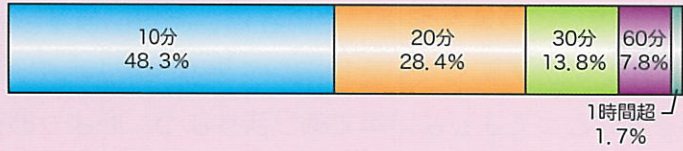
ご意見 待ち時間が長いのでもう少し早くなれば良いと思います。

回答 待合室等での患者さまへの目配り、気配り、お声かけを徹底し待ち時間の負担軽減に努めます。患者さまがお帰りになるまでの流れが円滑に進むようにこれからも取り組んでいきます。

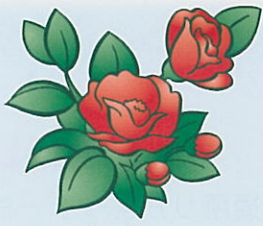
■受付から診察までの待ち時間



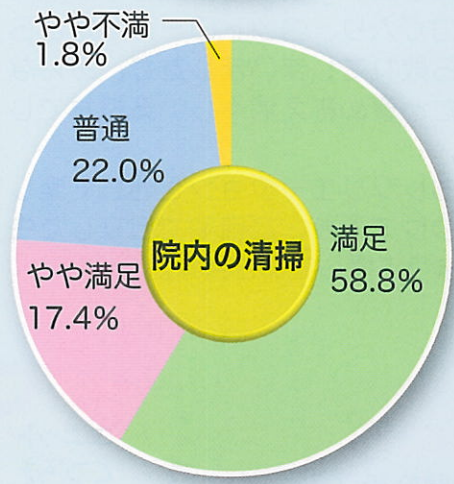
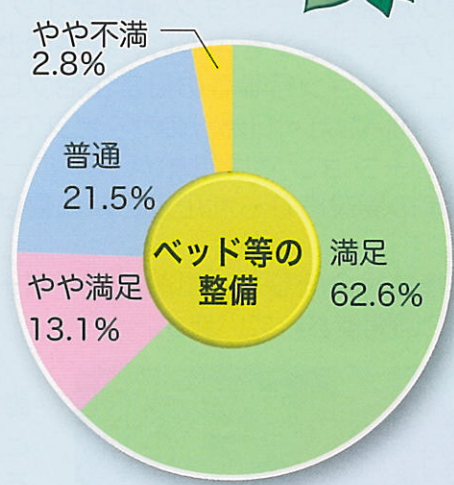
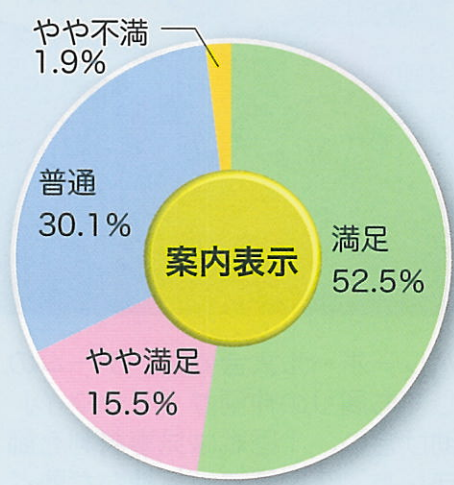
■会計での待ち時間



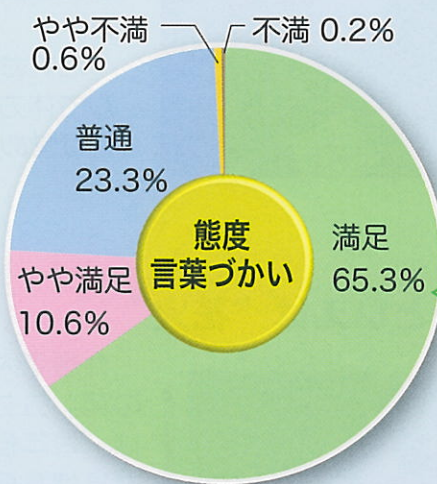
入院



■環境整備について



■職員の接遇について



先生や看護師さんとはとても親切、とてもいい看護士さんです。忙しい中、丁寧な対応ができています。いつもありがとうございます。

※その他のご意見（外来・入院）

- ・担当の先生が病室で言葉をかけてくださることは、ほんとに嬉しくて喜んでます。ありがとうございます。
- ・毎回、絵手紙や写真やグリーン生花等素敵です。
- ・診察のだいたいの予定を知らせてほしい。
- ・要望に対し臨機応変に対応して頂きありがたいです。

アンケート調査にご協力いただき誠にありがとうございました。
 ご要望に基づき、満足度の低いところは一つひとつ改善を図り、「皆さまに愛される病院」をめざしてまいります。今後ともよろしく
 お願いいたします。

病院長

優勝目指して一致団結

通所リハビリテーション(通称デイケア)は、リハビリテーションを中心に、入浴やお食事、レクリエーション行事等の日常生活プログラムにご参加いただく日帰りのサービスです。レクリエーションでは風船バレーボールが、平成元年の開設時から利用者さまに喜ばれています。

保健福祉総合施設では風船バレーボール大会が年2回開催されています。

みつぎの苑
デイケア



秋季風船バレーボール大会では、チームの誰かがミスしても周りの仲間が「ドンマイ」と声を掛け助け合い、1回戦は見事勝利を飾る事ができました。2回戦では気持ちが熱くなって腕に力が入り、コントロールが定まらず残念ながら敗れてしまいましたが、みんなよく頑張ったと褒め称え清々しい気持ちでした。

これからもレクリエーションを通じて楽しんで体力をつけて頂き、ご自宅で自立した生活が営めるよう支援していきます。

夏といえば“花火”



介護老人保健施設「みつぎの苑」ユニットくつろぎ棟では、毎年恒例の花火大会を開催しました。夜風が気持ち良い9月の夜、玄関前に集まると、皆さん待ちきれないといった表情。1本ずつ手に持ち「た～まや～!!」色とりどりの花火を見て「きれいなね～」と歓声があがりました。皆さんの笑顔は花火のように輝いていました。

これからも利用者さまが楽しめる行事を計画するとともに、心穏やかに安心して過ごして頂けるよう、今後も努めてまいります。

ユニット
くつろぎ



みんなで楽しく作っています

地域密着型特別養護老人ホーム「ふれあい」では、施設に入居されていても、昔ながらの趣味を活かし楽しみながら書道や編み物の他、季節折々の貼り絵や折り紙など、時には実習生たちも一緒に作品づくりを行っています。ご本人にとって“生きがい”となり、また家族にとっても喜びとなっています。

その作品を平成30年9月1日から9月30日の1カ月間、尾道市立みつぎ子ども図書館「すくすく」に展示しました。期間中は防災無線で毎日放送され、多くの地域の皆さまにも見ていただくことができました。また作品鑑賞に外出支援を行うと「こうして見ると、どれもいいねえ。」と嬉しそうな表情を浮かべておられました。慣れ親しんだ地域の中で交流を持ちながらも施設での生活に満足していただけるように、これからも様々な支援を続けていきたいと思ひます。

特養
「ふれあい」



認定看護師 5年目の思い

私が認定看護師になったのは5年前です。今年度は、認定の更新の年で審査申請を行い10月に可否の判定が下され、合格の通知が届きました。年齢的にこれが最後の更新だと思ひます。

私の認定は感染管理で、中材・手術室で勤務を行いながら専任で医療関連感染管理を行ってきました。毎年少しずつですが改善し効果的な感染対策を目指してきました。組織の中で活動する事は、人・物・時間の管理が必要でいつも悩まされています。

冬季にはノロウイルス胃腸炎やインフルエンザの発症があり、院内や施設でのアウトブレイク発生の時は、感染拡大を最小限にするため対策を行っていますが、実践を行うのは現場のスタッフであり、適切な対策が実践されているか重要です。現場の大変さも十分承知していますが、感染拡大を防ぐには、必要な対策を確実に実践する事が必要です。現場のスタッフの協力なしには、感染を防ぐことはできません。

これからも、皆さんの協力のもと患者さまや職員を感染から守る為頑張っていきたいと思ひます。



感染管理認定看護師
緒方 哲幸



第34回 御調地区健康福祉展

10月27日(土)・28日(日)に「第34回御調地区健康福祉展」を行い、多くの来場者でにぎわいました。



特別講演 大田 仁史先生



特別講演 宇津木 妙子さん



広島県警察音楽隊による演奏



屋外ステージ



健康づくりコーナー



ふれあい芸能発表



民生委員・児童委員による餅つき



備後かわち太鼓 (こども太鼓)

オレンジカフェ「おお〜いで」

星の里・今津野の家 谷 頼 誕

社会福祉法人尾道さつき会星の里・今津野の家では、毎月第4金曜日の10:00～11:30の間に、事業所の離れを活用してオレンジカフェ「おお〜いで」を開催しております。今津野地区の方に馴染みのある「大井手」というみつぎ川の水のたまり場にちなみ「おお〜いで」とネーミングしています。

オレンジカフェとは認知症の人や家族、支援する人達が参加して話し合い、情報交換等が行える場です。尾道市北部地域包括支援センターの職員や認知症地域支援推進員等の専門職も参加し、その場で気軽に介護の相談に乗っていただけるため、参加者からは「話を聞いてもらえるので嬉しい。認知症のことについて教えてもらえるので助かります」との声をいただいています。

参加定員は10名です。参加費は¥100でどなたでも参加できます。あなたもお茶やお菓子を食べながら一緒に介護の話をしませんか。

参加を希望される方は、星の里今津野の家(TEL0848-77-1100)まで連絡お願いいたします。



第7回 高校生医療体験 セミナー開催

10月27日(土)



模擬体験

(BLS・腹腔鏡ドライラボ・ハーモニック体験等)



腹腔鏡ドライラボの体験をしました

地域医療に興味があり、参加させてもらいました。様々な体験をすることができ、将来の目標をみることができました。医療の大切さを改めて実感しました。

この体験を通して、もっと医療に関する知識を深めていき、医療の仕事に就きたいという気持ちが強まりました。ありがとうございました。

普段見えないところ(画像診断や手術室)も見学でき、昼食の時にはお医者さんと話すことができて良かったです。

職員の紹介

介護福祉士

森下 智也

介護福祉士として介護老人保健施設「みつぎの苑」認知症棟に勤務し2年目になります。働いていく中で迷惑をかける事も多々ありますが、先輩方、ご家族、利用者さまから日々沢山のことを学ばせてもらっています。

私は仕事をしていく中で「一日一笑」という言葉を大切にしています。利用者さまが毎日笑顔で安心して過ごしていただけるよう、まず笑顔で接することを心がけています。また、利用者さまの思いをしっかりと受け止め、「ここにきてよかった」「この人に会えてよかった」と感じてもらいたいです。

介護福祉士としてまだまだ未熟ではありますが、これからも利用者さまやご家族に、寄り添った支援を心がけていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



看護師

山根 脩平

当院に勤務して2年が経とうとしています。地域包括ケアシステムに基づき在宅復帰を目標に患者さまと向き合っています。所属病棟には整形外科や泌尿器科の患者さまが中心ですが、術後や安静のために日常生活動作の低下が少なからずみられてしまいます。出来る限り入院前の生活に戻っていただけるよう、少しずつでもベッドから離れて過ごす時間を作るよう関わっています。そして、住み慣れた場所へ戻っていただくためにも、入院時から退院後の生活をイメージし関わっていくことの大切さを感じ、やりがいをもって日々看護に励んでいます。



理学療法士

風盛 智之

公立みつぎ総合病院に入職して2年目になり、現在回復期リハビリテーション病棟で勤務しています。2年間仕事をさせていただくなかで出会った患者さま一人ひとりの方に今まで生きてこられた人生・生活があることを実感しました。そのため、リハビリや退院支援をしていく中で、悩むことも多々ありますが、その度に先輩方や病棟スタッフの方々からご助言をいただきながら日々業務を行っています。

また、今年は栄養サポートチームの実地研修に参加させていただき、リハビリの知識だけでは不十分な事を痛感しました。まだまだ未熟な部分も多いですが、今後も日々勉強しながら自分らしく頑張りたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



電算室主事

西村 理紗

公立みつぎ総合病院に就職して2年目となりました。情報管理部の電算室に所属しており、現在は院内で使用する電子カルテ等のシステムや、パソコン・プリンターの管理・保守等を担当しております。

当初は医療関係の知識も全くなく不安でしたが、様々な部署のスタッフの方々にご指導・ご協力いただいたおかげで、3月の新電子カルテへの更新も無事行うことができました。

患者さまと直接関わる部署ではありませんが、スタッフの方々がいやすいシステムにすることで、間接的に患者さまに貢献できるようにこれからも頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



介護予防センターでは3つの事業を行っています。

理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士、看護師、介護福祉士、生活相談員などの専門職が運動・栄養・口腔などの介護予防サービスを提供し、在宅で自立した生活が継続できるよう支援しています。

1 介護予防通所サービス (火～金曜日 10:00～14:00)

要支援1、要支援2または事業対象者（基本チェックリストで該当の方）を対象にしています。専門職による運動器の機能向上・栄養改善・口腔機能向上サービスを提供しています。

2 短期集中型通所サービス (月曜日10:00～12:00)

要支援1・要支援2で介護予防給付等のサービスを利用していない人または事業対象者（基本チェックリストで該当の人）を対象に、6か月間のプログラムを実施する事業です。

3 基準緩和型通所サービス (月曜日14:00～16:00・水曜日10:00～12:00)

身体介護を要しない要支援1、要支援2または事業対象者（基本チェックリストで該当の方）を対象に、閉じこもり予防・生活機能の維持・向上を目的とした運動やレクリエーションなどを行っています。



機器を活用して筋力アップ



低栄養など予防する食事のポイント



口腔ケアのコツを指導



体操



脳トレーニング



レクリエーション



作品作り



調理実習

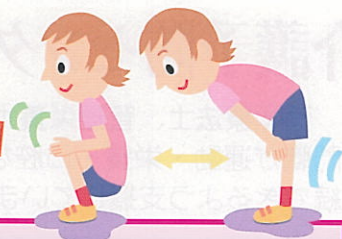


外出行事

「日常生活の動作が難しい」「転びやすくなった」「食べる時にむせやすい」「体重の減少が気になる」「外出の回数が減ってきた」などありませんか？
ご自分や家族のことで心配なことがありましたらお気軽にご相談ください。

介護予防センター 0848-76-2821
北部地域包括支援センター 0848-76-2495
御調保健福祉センター 0848-76-2235

元気はつらつ!! 健康づくりセミナー



3月4日(月)
13:30~15:30

*申込み締切
2月27日(水)

女性のための健康セミナー
~いつまでも美しく健康に~

講師：健康運動指導士 久保 恵

場所：みつぎいきいきセンター

- 内容：講義・運動実技
- 対象：概ね 74 歳までの尾道市民
- 定員：15 人（先着順）

女性限定
託児あり（未就園児先着3人）
【要予約】

(申込・問い合わせ先) 御調保健福祉センター TEL 0848-76-2235

平成30年度 尾道市御調地区
保健福祉大学



しも その そう た
講師 下園 壮太 氏
NPOメンタル・レスキュー協会理事長

問い合わせ先 御調保健福祉センター (TEL 0848-76-2235)

大人の心の 鍛え方

平成31年 3月11日(月)
13:30~15:00

会場 / 公立みつぎ総合病院5階講義室

申込不要・参加費無料
どなたでも参加できます

ご意見、ご感想をお聞かせください

TEL 0848-77-0955 FAX 0848-77-0956

E-mail: tiiki@mitsugibyoin.com

ホームページは「みつぎ病院」で検索

患者さま並びに地域の皆さまと共に作成したいと考えて
おります。ご要望をお待ちしております。

発行：尾道市立総合医療センター

公立みつぎ総合病院 広報誌編集委員会